



へぶすぬま ●平伏沼

海拔842mの平伏山の山頂にある平伏沼は、広大な落葉広葉樹に囲まれた小さな沼です。モリアオガエルの繁殖地として国の天然記念物に指定されています。



●高塚高原

村花であるサラサドウダンやツツジなどの低木林でおおわれている。初夏の山開きにはこれらの花が山一面に咲き始め、ツツジが満開になった光景は「福島の緑の百景」に選ばれている。

●モリアオガエル

日本の固有種。カエルは水中に産卵するものがほとんどだが、モリアオガエルは水面上にせり出した木の枝や草の上などに粘膜を泡立てて作る卵塊を産みつける。



What's KAWAUCHI?

川内村の魅力をご紹介します!

阿武隈高地の中央にあり、その阿武隈高地の最高峰「大滝根山」の東斜面の位置する川内村。村全体面積の約9割が山林で、自然に恵まれた土地です。中でも水の美しさは別格で、千翁川をはじめ様々な清流が流れており、イワナやヤマメなどの川魚が泳いでいます。そんな自然あふれる川内村の魅力を少しだけご紹介します!



●天山祭

天山文庫の前庭で毎年開催される天山祭は、心平氏を中心に村民たちが酒や肴を持ち寄り、時を忘れるほど楽しんだ祭りです。現在でも心平氏の遺徳をしのび、酒や肴が振る舞われ、詩の朗読や伝統芸能の披露などが行われます。



●天山文庫

美しいロケーションと趣のある茅葺き屋根の天山文庫は、草野心平氏と川内村民との親交が生んだ、心平氏の書庫兼別荘。天山文庫の名は「シルタロード」にそびえる天山山脈になぞられ、みちのくと中央の交流、人と人との出会いを大切にしたいという熱意を込めて、心平氏が命名しました。

●草野心平

「蛙の詩」で知られる詩人・草野心平氏。「モリアオガエルの生息地があれば教えてほしい」と、新聞に投書したのがきっかけで、昭和28年に川内村に訪れました。以来、心平氏と村民との親交が深まり、昭和35年に川内村名誉村民第1号の称号が贈られました。

●モリタロウ

村のマスコット「モリタロウ」は自然の村長です。村にはいろいろなところがあるので、探してみてください!



●かえるマラソン

小学生の発案から始まったかえるマラソン。川内村のシンボル「カエル」と、2011年の東日本大震災による全村避難から「村に帰れる人から帰ろう」と決めたことから、村に「帰る」・村を「変える」の意味も含み「川内の郷かえるマラソン」という名前になりました。毎年、川内優輝さんファミリーも参加するイベントです!



●川内村の盆イベント

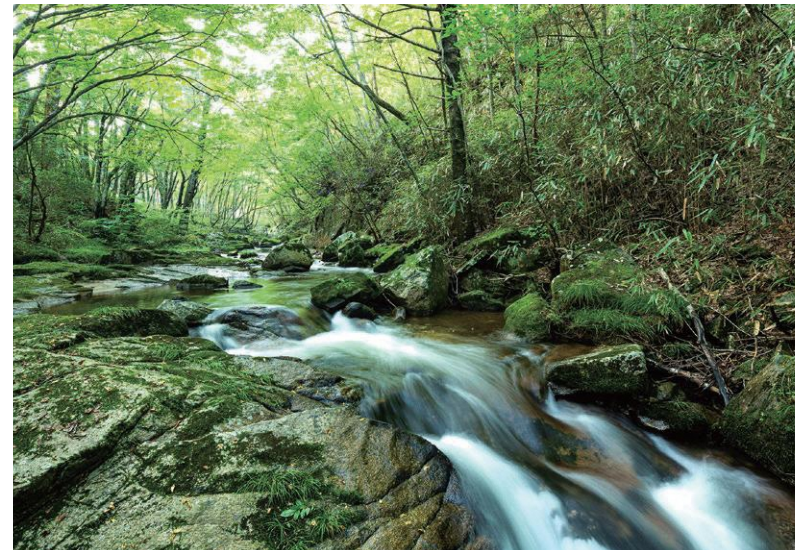
川内村のお盆は大忙し!村ゆかりのアーティストによるライブや盆踊り・花火打ち上げが魅力の「BON・DANCE(ボンダンス)」や、冬は寒く集まりづらいので盆に行う「成人式」、2日にかけて戦う盆野球など、イベント盛りだくさん!

●合同大運動会

村の園児・児童から村民、村長、モリタロウまで参加する大運動会!みんなで踊る「川内甚句」や騎馬戦など、村全体が一つになります。

●いわな

いわなの生息地や繁殖地のある川内村では、いわな釣りやお土産がたくさんあります!



●千翁川

福島の水30選に選ばれる千翁川は、イワナの生息地としても知られています。上流に民家がないこともあって、たいへん清らかな川です。

●いわなの郷

いわなを養殖しており、いわな釣りが楽しめます。炭火で焼いたいわなは絶品!その他、和風造りのレストハウス「幻魚亭」や、そば打ち体験ができる体験交流館、休憩・宿泊ができるコテージなど充実の施設です。

●蕎麦ビール「蕎麦畑」「蕎麦」 純米吟醸「歸宴」

川内産の蕎麦で作ったビールは、喉越しの黒「蕎麦畑」と、こだわりの白「蕎麦」の2種類があります。「歸宴」は、川内村産の酒造好適米「夢の香」を使った純米吟醸酒です。



●樋口主水

川内村に「琵琶仙人あり」と本村を広く知らしめ、昭和61年に福島県文化功労賞・川内村特別功労賞、平成2年には文部大臣から地域文化功労賞が贈られた樋口主水氏。平成8年に川内村名誉村民第2号の称号が贈られました。

●えごま

川内村のような中山間地域では栽培しやすい「えごま」。地域によって呼び方が違うようで、川内村では「じゅうねん」と親しまれています。



●蕎麦

川内村は寒暖の差が大きく、美しい水を育む自然に恵まれているため良質な蕎麦が育ちます。川内村自慢の蕎麦をぜひご賞味ください!

